２／10（木）の発表

はじめよう、つづけよう。
「新北海道スタイル」
～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル

報道発表資料の配付日時　　２月10日（木）16時30分

発表項目（行事名）	第68回北海道広報コンクールの審査結果について		
記者レクチャーのお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	本道の自治体等における広報技術の向上に資するため、北海道、北海道市長会、北海道町村会で構成する広報広聴技術研究会実行委員会では、毎年、北海道広報コンクールを実施しています。 １月20日（木）、令和３年に発行・発表された広報誌・広報写真・映像を対象に、第68回のコンクール審査会を開催し、各部門の特選及び入選作品を別紙のとおり決定しましたので、お知らせします。 各部門の特選作品は、公益社団法人日本広報協会主催の「全国広報コンクール」に推薦します。「全国広報コンクール」の審査結果については、令和４年４月頃、公益社団法人日本広報協会から発表される予定です。 なお、表彰式は、令和４年度広報広聴技術研究会に合わせて実施の予定です。 ○　応募状況 総数　112点　（前回102点） 応募団体数　59団体　（前回50団体）		
参考	北海道広報コンクールは、昭和27年から毎年実施しており、広報広聴技術研究会実行委員会（北海道、北海道市長会、北海道町村会で構成）が主催しています。		

報道（取材）に当たっての お願い	○　市町村の優れた広報をより一層奨励するため、入選した広報作品の積極的な報道をお願いします。 ○　特選及び入選した作品に係る制作過程等については、それぞれの市町の広報担当者に取材をお願いします。	
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所) 道政記者クラブ

担当（連絡先）	広報広聴技術研究会実行委員会事務局（総合政策部知事室広報広聴課） 担当者：吉田・髙橋 ＴＥＬ　ダイヤルイン　011-204-5110　　内線　21-354

第68回北海道広報コンクール特選作品の概要

1　広報紙

（1）市の部

①作品名	広報えべつ　8月号 （令和３年８月１日江別市発行）
②連絡先	江別市企画政策部広報広聴課 Tel：011-381-1009
③ホームページ	https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/koho/92479.html

作品講評
- フレイル予防について、単なる啓発ではなく市民自身が主体的に取り組むよう誘導していく展開は非常に巧みで、技術的に優れている。文章は要点をうまく整理してわかりやすい。
- 編集者のやる気が伝わる作品で充分な力量を感じる。

（2）町村の部

①作品名	広報しみず　１２月号 （令和３年１２月１５日清水町発行）
②連絡先	清水町企画課広報広聴係 Tel：0156-62-2114
③ホームページ	https://www.town.shimizu.hokkaido.jp/public/details/12_2.html

作品講評
- 清水高校の生徒さんが制作に参画している特集は文章・レイアウトともに最高である。地域における高校の役割、存在感は非常に大きいが、その意義をこれほど的確に伝えた誌面を初めて見ることができた。
- 巻頭から巻末まで、デザイン、レイアウトがうまくまとまっていて、読ませて伝える広報誌本来のあり方を体現しており、全体レベルが高い。

2　広報写真

（1）一枚写真

①作品名	広報ふかがわ　8月号　１ページ （令和３年８月５日深川市発行）
②連絡先	深川市企画総務部総務課秘書広報係 Tel：0164-26-2216
③ホームページ	https://www.city.fukagawa.lg.jp/cms/public/2021/gm9h2g000000roke.html

作品講評
- カヌーに乗る子供達の楽しげな表情が良く、瞬間を捉えた良い写真。アングルとシャッタータイミングは見事。

（2）組み写真

①作品名	広報とまこまい　9月1日号　2－3ページ （令和3年9月1日苫小牧市発行）
②連絡先	苫小牧市総合政策部政策推進室秘書広報課 Tel：0144-32-6108
③ホームページ	https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kouhou/kouhou.php?yid=1#kouhou_228

作品講評

・写真１枚１枚に動きがあり、躍動感のある多彩な作品。動きがあるスポーツ写真の撮影は非常に難しいが、しっかりと動きを捉えている。人物写真の「キリヌキ」と「カクハン」を見事に組み合わせ、非常に凝った、今までにない作り方で説得力のある紙面作りに成功している。

３　映像

①作品名	【Enjoy GREEN Life】森の維持
②連絡先	当麻町情報発信戦略課情報発信係 Tel：0166-84-2111
③ホームページ	https://www.youtube.com/watch?v=QRMEE17Cz44

作品講評

・美しい森の映像もさることながら、どうやって木に登るかという作業の基本から記録され、森の維持の実際を巧みにまとめている。
・「木育」という観点で、映像の最初から引きつける構成となっており、最後まで興味深く見ることができる作品。

第68回北海道広報コンクール入選作品の概要

1　広報紙

（1）市の部

①作品名	広報いしかり　8月号 （令和３年８月１日石狩市発行）
②連絡先	石狩市企画経済部秘書広報課 Tel：０１３３－７２－３１４５
③ホームページ	https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/soshiki/hisyokoho/62695.html

作品講評
- 地元プロ野球球団の特集は、表紙・表紙の二次元バーコード・特集扉・文のビジュアル展開と連動性が非常に素晴らしい。エピソードを種類別に整理する手法もこなれていて、見出し、文章ともに言葉の選び方が的確で高度な表現力を感じる。誌面レイアウトも素晴らしくモノクロにしてカラーを凌駕する訴求力がある。
- 地域のチームへの愛着がわく。保存版にしたい内容。

①作品名	広報ちとせ　9月号 （令和３年９月１０日千歳市発行）
②連絡先	千歳市企画部広報広聴課広報係 Tel：０１２３－２４－０１０４
③ホームページ	https://www.city.chitose.lg.jp/docs/22470.html

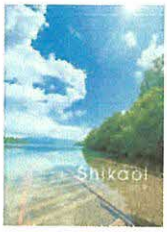
作品講評
- キウス周堤墓群を含む北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産となったことを受け、立体的重層的な誌面構成で実にわかりやすくまとめている。伝えようという意気を感じる。
- 紙面構成が巧みで、人物写真を多用し、白黒ページだがカラーに劣らない。躍動感は作り手の力量を物語っている。

（2）町村の部

①作品名	広報猿払　8月号 （令和３年８月２日猿払村発行）
②連絡先	猿払村企画政策課企画係 Tel：０１６３５－２－３１３１
③ホームページ	https://www.vill.sarufutsu.hokkaido.jp/hotnews/kouhou.php?preview_year=2021

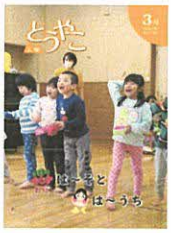
作品講評
- 表紙写真の「牧草地」・「タブレット端末」・「勉強する子ども」というギャップのある取り合わせに圧倒された。地域が世界と直接つながるデジタル世界を見事に表現している。夏休み中の小学生に読みやすいようにと総ルビ化の取り組みも素晴らしい。

①作品名	広報しかおい　9月号 （令和３年８月２５日鹿追町発行）
②連絡先	鹿追町企画課広報広聴係 Tel：０１５６－６６－４０３２
③ホームページ	https://www.town.shikaoi.lg.jp/koho/r03/r03-09/



作品講評
- 座談会形式でジオパークを担う女性たちの肉声をうまく紹介している。多様な背景を有する人たちの取組がわかりやすく伝わるのは、インタビューのまとめ方が秀逸で、どの発言をピックアップするかの判断が的確だからである。勉強意欲が伝わってくる作品である。

①作品名	広報とうやこ　３月号 （令和３年３月１０日洞爺湖町発行）
②連絡先	洞爺湖町総務部企画防災課広報統計グループ Tel：０１４２－７４－３００４
③ホームページ	http://www.town.toyako.hokkaido.jp/town_administration/public/pub001/2021_3/



作品講評
・地元農産物の魅力と農業の意義を伝える好企画。イラストや写真をうまく使用して、わかりやすく特集している。3人の北海道農業士の対談は画期的で非常に興味深い。デザイン、レイアウトについては、充分に伸びしろを感じ、今後に期待できる作品である。

①作品名	広報えさし　３月号 （令和３年３月１日江差町発行）
②連絡先	江差町まちづくり推進課広報統計係 Tel：０１３９－５２－６７１２
③ホームページ	https://www.hokkaido-esashi.jp/modules/chousei/content0052.html

作品講評
・特産の寒海苔について漁から加工まで地域の価値ある特集。表紙の迫力ある写真、わかりやすい工程説明、91歳現役漁業者のインタビューと、立体的な誌面構成で地域の食の価値を効果的に伝えている。
・寒海苔について、テーマとして難しいが丁寧に取材し、住民に知ってもらいたいのだろうなということが伝わってくる内容。

２　広報写真

（１）一枚写真

①作品名	広報新ひだか　７月号　１ページ （令和３年６月２５日新ひだか町発行）
②連絡先	新ひだか町総務部企画課広報広聴・統計グループ Tel：０１４６－４９－０２６９
③ホームページ	https://www.shinhidaka-hokkaido.jp/koho/1.html#koho_150

作品講評
・田植えの楽しさが、この一枚で伝わる、文句なく上手い作品レベル。アングルも素晴らしく、瞬間の足の運びを捉えた完璧な写真。

①作品名	広報えさし　３月号 （令和３年３月１日江差町発行）
②連絡先	江差町まちづくり推進課広報統計係 Tel：０１３９－５２－６７１２
③ホームページ	https://www.hokkaido-esashi.jp/modules/chousei/content0052.html

作品講評
・モノクロだが、画面いっぱいに逆光で狙ったアングルが良く。緊張感が伝わる。
・インパクトのある写真で高齢の漁師が一生懸命、寒海苔をとるシーンがうまく撮れている。

（２）組み写真の部

①作品名	我が郷土　６月号　６～７ページ （令和３年６月１０日当麻町発行）
②連絡先	当麻町情報発信戦略課情報発信係 Tel：０１６６－８４－２１１１
③ホームページ	http://town.tohma.hokkaido.jp/kouhou/

作品講評
・アングルが的確で、絵が見易い。より引きが良くメリハリが有り、構成も良い。上品で木目の感じが伝わってくる。

①作品名	幌延町広報誌　ほろのべの窓　４月号　４ページ （令和３年４月幌延町発行）
②連絡先	幌延町住民生活課生活グループ Tel：０１６３２－５－１１１２
③ホームページ	https://www.town.horonobe.lg.jp/www4/section/jumin/public/le009f000001kcot.html

作品講評
・笑顔やジャンプする瞬間など的確に捉え、町内の小中学校の卒業式の一コマをうまく組み合わせている。

３　映像

①作品名	インターネットテレビ番組「タウンニュースつべつ」
②連絡先	津別町住民企画課企画係 Tel：０１５２－７７－８３７４
③ホームページ	https://www.youtube.com/watch?v=wJbREq9clcc

作品講評
・GIGAスクール構想の話題をうまく捉えている。大きく変化する教育現場の実像をリアルに伝えており、広報としてきわめて意義のある企画である。住民が中学校の学校教育を知る良い機会となった点は評価に値する。

第68回北海道広報コンクール審査結果

1　広報紙（誌）

（1)市の部（応募数16点）

区　分	団体名	広　報　紙（誌）　名	備　　考
特　選	江別市	広報えべつ　8月号	全国広報コンクール推薦 （市の部）
入　選	石狩市	広報いしかり　8月号	
〃	千歳市	広報ちとせ 9月号	

（2)町村の部（応募数33点）

区　分	団体名	広　報　紙（誌）　名	備　　考
特　選	清水町	広報しみず　12月号	全国広報コンクール推薦 （町村の部）
入　選	猿払村	広報猿払　8月号	
〃	鹿追町	広報しかおい　9月号	
〃	洞爺湖町	広報とうやこ　3月号	
〃	江差町	広報えさし　3月号	

2　広報写真

（1)一枚写真・市町村の部（応募数39点）

区　分	団体名	広　報　紙（誌）　名	備　　考
特　選	深川市	広報ふかがわ　8月号	全国広報コンクール推薦 （広報写真・一枚写真の部）
入　選	新ひだか町	広報新ひだか　7月号	
〃	江差町	広報えさし　3月号	

（2)組み写真・市町村の部（応募数11点）

区　分	団体名	広　報　紙（誌）　名	備　　考
特　選	苫小牧市	広報とまこまい　9月1日号	全国広報コンクール推薦 （広報写真・組み写真の部）
入　選	当麻町	我が郷土　6月号	
〃	幌延町	幌延町広報誌 ほろのべの窓　4月号	

3　映像（応募数8点）

区　分	団体名	作　品　名	備　　考
特　選	当麻町	【Enjoy GREEN Life】森の維持	全国広報コンクール推薦 （映像の部）
入　選	津別町	インターネットテレビ番組「タウンニュースつべつ」	

第68回北海道広報コンクール応募状況

■　応募作品数

区分	部　門　別	応募作品数（点）			備　　考
		今回	前回	増減	
広報誌（紙）	市の部	16	17	−1	
	町村の部	33	29	4	
	政府機関・団体の部	0	0	0	
	計	49	46	3	
広報写真	一枚写真（市町村の部）	39	34	5	
	〃　（政府機関・団体の部）	0	0	0	
	組み写真　（市町村の部）	11	13	−2	
	〃　（政府機関・団体の部）	0	0	0	
	計	50	47	3	
映　　像		8	5	3	
広報企画		3	4	−1	
ウェブサイト		2	0	2	
合　　計		112	102	10	

■　参加団体数

区　　分	今回	前回	増減	備　　考
市	19	18	1	
町村	40	32	8	
政府機関・団体	0	0	0	
計	59	50	9	